

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第29回 2020年10月)



大坂なおみ選手がテニスの全米オープンで優勝した。テニスといえば漫画の「エースをねらえ！」しか知らない食いしん防が見ても「すごい！」と思える勝ちっぷりだった。

第1セットを大差で取られたあと逆転した試合なんて、岡ひろみの姿がダブるようだった。

大会が始まる前から、彼女は人種差別に反対する発言で注目を集めていた。白人警官に殺された黒人被害者の名前を入れたマスクを試合ごとに着用したことなどが、称賛的になった。正直に告白すると、彼女が大会前に「人種差別に抗議するため出場をボイコットする」と言ったあと「講義を表明するために出場する」と変えた時には、「スポーツをそういうことに利用するのは、ちょっと違うのではないか」と思った。食いしん防は心の狭い人間だったと反省する。

もし初戦あたりで負けていたら、「それ見たことか」と嘲笑される可能性もあった。そのプレッシャーをはねのけて優勝までしたのだから、その精神的強さたるや尋常ではない。率直にスゴイと思う。

ちなみに「エースをねらえ！」は、「ガラスの仮面」と並ぶ青春時代のバイブルだ。食いしん防は男なので男性登場人物に感情移入してしまうのだが、若いころは「藤堂さんがんばれ！」「千葉ちゃん負けるな！」と思っていたのが、中年以降に読み直してみると宗方コーチに思いっきり感情移入して涙まで流してしまう自分にビックリした。



大坂選手の恋人はラッパーだそうで……うーん、時代を感じるね。



さて、大坂選手はインタビューで「どんな失敗からも学ぶことができる」と語っている。うーん、なんてオトナなんだ！ この姿勢を食いしん防も見習いたいと思う。問題は、失敗したことをすぐ忘れてしまうことだけだ。

TOPICS

☆県総合防災訓練を見学！

毎年9月に行われる滋賀県の総合防災訓練。今年の会場は東近江市だった。コロナの影響で規模を縮小し、屋内のみで人数も絞った訓練となった。布引体育館内を架空の小学校体育館に見立て、発災直後の避難所開設から時間軸に沿ったかたちでの避難所運営訓練を行った。

今回はコロナへの対応も兼ねての内容となっており、各地域を代表した見学者た

ちは、興味津々で訓練の様子を見守った。大切なのは、設営や運営を行政にお任せするのではなく、住民も積極的に加わっていく必要があるということ。そのためには、自主防災組織でHUG（避難所運営の模擬訓練）などを行って、事前の準備をしておかねばならないと痛感した。

詳しくは以下の写真（食いしん防撮影）をご覧ください！



↑ 避難所受付訓練のようす



↑ 開設直後の避難所 距離を保ちます



↑ 2日目以降 プライバシー保護の仕切りが



↑ 救援医療チーム出動！



↑ テント内には簡易ベッドも



↑ 医療チーム活動のようす



↑自衛隊の災害支援特殊車輛 デカい！



↑消防団の湖東方面隊長も興味津々

☆コロナ対応助成の審査結果は・・・

前号でお伝えした「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」への湖東まち協からの応募申請の続報。審査結果は「不採択」だった。しかし、防災関係で必要なものは、何とかしてそろえるつもりである。

今後の活動予定

10月30日 災害支援市民ネットワークしが研修会

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：消防団のH隊長も興味を示している自衛隊の特殊車輛は、どこが特殊なんですか？

A：そこに食いついてくるとは、おたくもマニアだねえ。地震で路上に段差や障害物があっても楽々乗り越えていくニクいやつ！ 90cmまでの水深もへいちゃら！

Q：「エースをねらえ！」が愛読書だったとは意外でした。藤堂さんや宗方コーチは覚えているのですが、千葉ちゃんて誰でしたっけ？

A：岡ひろみたちの通う高校の新聞部長。ナンパな記事を得意とするメガネ君だが、実は空手の有段者でもある。「きみが望むなら俺は泥でも食うよ」という名セリフで愛を告白するが、ニブいひろみに気づいてもらえず、近所の幼稚園児に慰めてもらっていた。ひろみを撮った写真でコンクールの最優秀賞をゲット。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

